

ニホンジカくくいワナ 『小林式誘引捕獲』 現地講習会を開催しました



令和8年8月7日（金）「秩父ミュージックパーク」において、シカの習性を利用したくくりワナによる新しい捕獲技術「小林式誘引捕獲」を考案した近畿中国森林管理局和歌山森林管理署の小林氏を招いて、現地講習会を開催しました。

国有林の職員のほか、民国連携の取り組みとして秩父地域森林林業活性化協議会のメンバーにも参加をご案内し、埼玉県をはじめ、関係市町の担当者、秩父広域森林組合、山梨県丹波山村の職員など22名が参加しました。

講習では、はじめに座学としてワナの種類と特徴、小林式誘引捕獲の開発の経緯・実施例、捕獲ポイントの設定とワナ設置の手順等について説明していただきました。

続いて、小林氏によるワナ設置の実演と参加者による実習を行いました。

実習では、特にワナ設置のポイントの一つである、ワナの周囲におく石の配置の仕方について丁寧に指導していただき、捕獲しやすい設置方法を習得することができました。

当所管内の国有林では、造林木の皮剥ぎや植栽木の食害が拡大しており、シカ被害防止のため、新植地へのシカ柵設置のほか委託事業や職員実行によるシカ捕獲を実施しています。昨年度は、委託事業で30頭、職員実行で6頭のシカを捕獲しました。

今後もシカ被害防止対策としてシカ捕獲を推進することとしており、全国的に成果をあげている「小林式誘引捕獲」の技術により、シカ捕獲の効率化と捕獲頭数の拡大を目指していきます。

座学の様子



講師の実演



参加者の実習

